

屋久島生態系モニタリング

屋久島北部植生垂直分布調査 (平成17年度調査)

・宮之浦岳北側斜面 (標高1395m地点)

プロットは、太古杉方向から高塚山頂へ向かって尾根を登り切った山頂直下に設定した。局所地形は、尾根を中心とした凸型斜面で、平均傾斜が36°、平均斜面方位は、尾根を挟んで北側と南側とに分けられる。

プロットの階層別植生は、亜高木層では、スギ・ユズリハ・シキミ・アセビ・リュウブ・ヤマグルマ・サクラツツジ・ソコが混生し、個体数は少ないがツナサワフタギ・コハウチワカエデ・ヒメシヤラ・ヤマボウシも生育する。

低木層では個体数が多く密生しており、植被率も高い。ハイノキ・サクラツツジが最も多く、シキミ・アセビ・ヒメサカキも多い。個体数は少ないがスギ・リュウブ・ヒメシヤラ・コハウチワカエデ・ナナカド・ツクシイツゲも出現する。

草本層では、ハイノキが最も多く、サクラツツジも多い。スギ・ヤマボウシの稚樹・アセビ・ヒメサカキ・ツルリンドウ・ミヤマウスラ・シュスタン・オゴコウワウレン・コバノシガケマ・ホソバコケシノブが生育する。

四月十日(金)に、展覧場の混雑防止のため、展示場を所定の位置に移し、黄緑色のテープを斜めに貼って、観客の立ち入りや通行を制限する。また、登山者の安全確保のため、登山道に黄色のテープを貼って、通行を制限する。

縄文杉展望デッキ標示区分の塗り替え



塗り替えが済んだ展望デッキ

観望の安全確保のため、登山道に黄色のテープを貼って、通行を制限する。また、登山者の安全確保のため、登山道に黄色のテープを貼って、通行を制限する。



(撤去前) 下回り歩道



(撤去後)



(撤去前) 上回り歩道



(撤去後)

樹勢回復を目指して

弥生杉周遊歩道を整備

弥生杉の樹勢回復を図るため、登山道に黄色のテープを貼って、通行を制限する。また、登山者の安全確保のため、登山道に黄色のテープを貼って、通行を制限する。

弥生杉の樹勢回復を図るため、登山道に黄色のテープを貼って、通行を制限する。また、登山者の安全確保のため、登山道に黄色のテープを貼って、通行を制限する。



展望所からの弥生杉



弥生杉全体と歩道

屋久島の植物



テップウユリ (ゆり科)

四月二十二日、屋久島町総合センター大会議室において、今年度第一回の屋久島山岳部協議会を開催しました。協議会では、登山道の安全確保や、登山者の安全確保について話し合いを行いました。

屋久島山岳部協議会開催

屋久島の植物は、多岐にわたります。その中には、高さ八〇cmに達するものや、花の直径が二〇cmに達するものなどがあります。また、花の香りも非常に良いです。

屋久島森林環境保全センター 平成21年度業務予定

森林生態系保護

- (1) 世界自然遺産保全緊急対策事業
 - ア 屋久杉樹勢回復措置(縄文杉・弥生杉他)
 - イ 植生等回復措置(縄文杉周辺)
 - ウ 生態系モニタリング調査(屋久島西部植生分布調査)
- (2) 森林生態系保護地域バッファゾーン整備事業
 - ア 植生回復及び教育施設整備
- (3) 天然性林管理水準確保緊急対策事業
 - ア 森林保護員の雇用によるきめ細かな保全管理
 - イ 入込利用者への指導・啓発
- (4) モニタリング
 - ア 雨量観測
 - イ 写真映像による調査(環境省、森林総合研究所)
- (5) その他
 - ア 森林生態系保護地域等の森林パトロールを実施
 - イ 縄文杉Webカメラの管理

20年度各事業実施状況写真



植生等回復措置
(木橋型歩道工)



植生等回復措置(シカネット設置)



樹勢回復措置(傷口撮影)



雨量計(宮之浦林道)



森林保護員によるパトロール

治山事業

区分	箇所数(面積)
谷止工	3基 [1]
護岸工	1箇所
山腹工	—
堆砂垣工外	1箇所
保安林改良事業	44 55

[]翌債、 は明許分



継続した谷止工の設置

保安林改良事業の内訳

作業種	面積
下刈	2
除伐	2 10
本数調整伐	44 45

普及教育及び森林空間総合利用等

- (1) 森林教育等の実施(他機関主催森林教室等への協力)
- (2) 自然休養林内等での指導・パトロールの実施
- (3) 屋久島レクリエーションの森保護管理協議会等への助言・指導



屋久島高校環境学習

その他

- (1) 関係機関との連絡調整
- (2) 学術調査研究等に係る入林手続きの接受及び指導等
- (3) 広報誌「洋上アルプス」の発行及び年報の作成
- (4) 資料等の整備・拡充



ボランティア作業参加者の皆さん(白谷雲水峡)